

YOKOHAMA Hack!

#ワーキング参加募集

Y-Hack! Gate3

「ICTを活用した子ども見守りサービス(実証実験に向けたワーキング)」

こども青少年局 保育・教育運営課

2023.08.03

1 背景

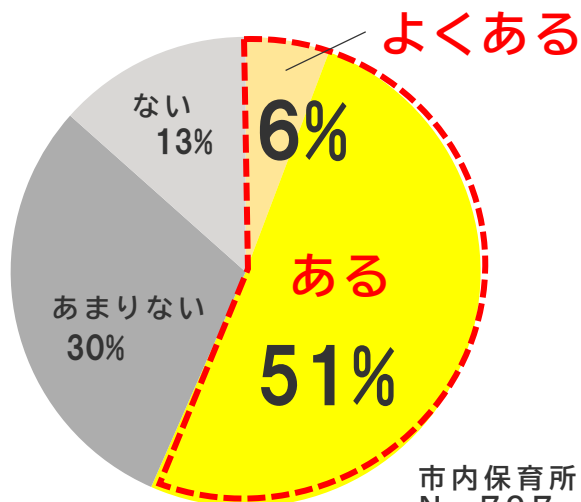
◆ 園児の園外活動について

- ▶ 多くの保育所等では、子どもの豊かな成長のため、園児を連れ、施設近隣の散歩や、公園等にて外遊び（園外活動）を実施しています。
- ▶ 園外活動時、置き去り・行方不明等を防止するため、各施設は引率者の目視による人数確認等を徹底していますが、様々な要因により、**置き去り等の発生する危険性**があり、各施設は不安を感じています。

< 園外活動時の置き去り・行方不明事案例 >

- ▶ 保育所等から出発時、人数確認をしたが、道中、園児が列を離れ見失う。
- ▶ 公園において、植木などに隠れており、帰園後、園児がいないことに気づく。

園外活動時（公園における活動・散歩）に、
園児の行方不明や置き去りなどの不安を感じることはあるか。



市内保育所等の**約57%**が
不安を感じることもあると回答。

市内保育所等アンケート
N = 797

2 課題

◆「ICTを活用した子どもの見守りサービス導入支援事業」について

- ▶そこで、横浜市では、園外活動時の安全対策強化の一環とし、「**保育所等におけるICTを活用した子どもの見守りサービス導入支援事業**」(補助事業)を実施しています。
- ▶各施設も、ICTを活用した見守り製品に対し、約70%の施設が「関心がある」と回答しています。(N=797施設)

しかし、

保育所等で活用できる製品が少なく、有効な製品を導入できない状況です。

保護者が使用するGPSタグ等の市販製品はあるが、保育所にて活用する場合は、以下の点等の考慮が必要です。

- ・園児(主に2～5歳)に装着することを考慮した形状、安全性、装着方法
- ・数名の職員で多くの児童を見守ることを想定した製品
- ・日によって異なる児童が利用するなど、保育施設の特性に合わせた対応が可能であること

そのため、既存製品から各施設が選択しにくい状況にあります。

3 ワーキングの方向性

◆ 想定する解決の方向性

公園等における園外活動時に、置き去り等を防止するために、民間企業の皆さまと横浜市の共創により、保育の実情に合い、使いやすい製品の仕様検討、製品開発が行われることで、保育所等がよりよい製品を導入できるようにしたい。

◆ 想定するアプローチ・デジタル技術

基本的な要求技術

園児に機器等を装着し、GPSやBluetooth等のICTを利用し、園外活動時に園児の所在又は人数を確認できること

その他想定される技術

一定距離以上離れる等、危険な可能性がある場合、アラートなど注意喚起をする等

◆ 留意事項

今回のワーキングは、今後予定している「ICTを活用した子ども見守りサービス」の実証実験に必要な実験要件等を検討することを目指しています。実証実験を経て、**各施設が2024年度以降に導入することを想定しています。**

先行して実施している「ICTを活用した子ども見守りサービス（展示会に向けた製品紹介）」は、すでに完成した製品を紹介し、**2023年度中に導入することを目的とした取組**です。（P5下段のフロー）

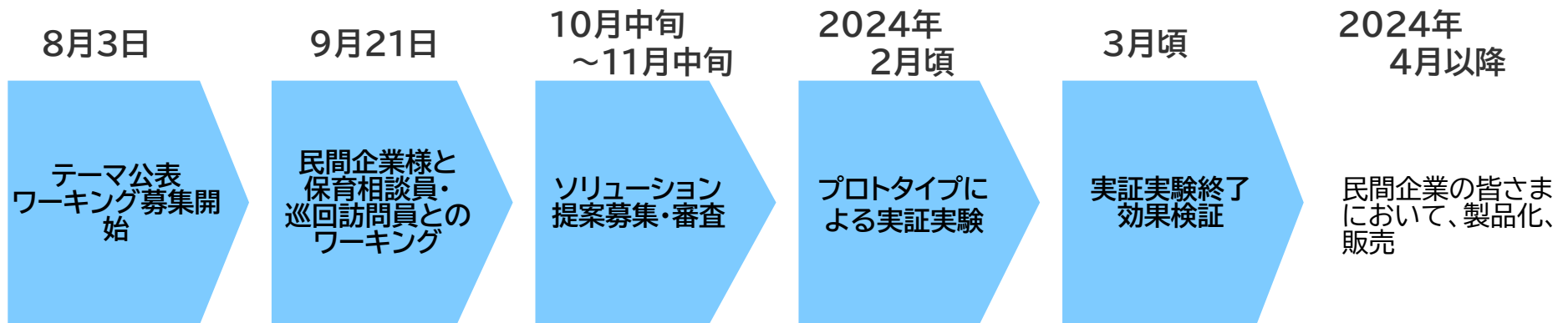
3 ワーキングとは

ワーキングでは、デジタル技術や知見を有する民間企業等の皆さまと、横浜市の保育相談員・巡回訪問員等で、**2つのテーマ**についてワークショップを行います。

項目	内容
テーマ	①保育現場の課題に対するデジタル化、DXの可能性 ②園外活動の際の安全対策のポイント、サービスの利用可能性
日時	2023年9月21日(木) （所要時間 2時間15分） ▶午前の部 9:30～11:45 ▶午後の部 13:00～15:15 ※ お申し込みいただいたのちに、午前又は午後の部のどちらに参加いただくか、事務局からご連絡します。（ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。）
会場	YOXO BOX（横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON関内）
参加者	▶ 子どもの見守りツールの開発に関心のある民間企業の皆さま ▶ 保育現場のDXに関心のある民間企業の皆さま ▶ 横浜市保育相談員・巡回訪問員等 ※保育相談員・巡回訪問員は本市市立保育所園長経験者等の保育士であり、現在は、保育の質向上・事故防止等のため、多数の施設を訪問し、指導・助言を行っています。
応募期間	2023年8月3日(木)～8月31日(木)
応募方法	「YOKOHAMA Hack!」ウェブサイトよりお申し込みください。

4 スケジュール(ワーキング募集～実証実験)

ワーキングを開催後、横浜市はワーキングの内容を踏まえ、課題解決のための実証実験の実施に向けたソリューション提案募集を行う予定です。実証実験に参加いただいた民間企業の皆さまには、実証実験の結果を踏まえて、製品化、販売に向けて取り組んでいただきます。



ワーキング申し込み期間
8月3日～31日

上記のワーキング～実証実験の事業と並行して、令和5年度における「ICTを活用した子どもの見守りサービス」の導入のために、既存製品のオンライン展示会を実施します。

6月20日～7月18日 8月28日～9月30日

製品紹介募集

オンライン展示会

2023年度に、
保育所等による
製品導入検討



展示会イメージ図

◆ 横浜市補助事業(令和5年度)

▶ 「ICTを活用した子どもの見守りサービス導入支援事業」

(1) 補助内容

主に園外活動時の子どもの見守りのため、GPSやBluetooth等のICTサービスを活用した製品(見守り機器)を導入する費用に対し補助を行います。

☆靴や帽子等に取り付けるGPSタグ等を想定しています。



(2) 補助額

1施設あたり 最大16万円

- ▶ 補助基準額(上限) 1施設あたり 20万円(補助割合 4/5)
- ▶ 補助額(補助基準額×4/5) 1施設あたり最大16万円

(3) 補助対象期間

2022年9月5日 ~ 2023年12月31日までに購入・支払いを完了したもの

◆ 使用時の想定モデルケース

	ケース1	ケース2	ケース3
園児数	10人	20人	30人
職員数	3人	3人	3人
年齢	2歳児クラス	3・4歳児クラス	5歳児クラス
活動場所	園周辺の散歩	公園で自由活動	
活動回数	1日1回		
時間帯	AM10時～11時頃	AM9時半～11時頃	
活動時間	1.5時間～2時間 (移動時間含む)		

◆ 機器に考慮が必要なこと

性能	内容
装着性	・保育士が子どもに取り付けやすい ・園児が自ら外しにくい(誤飲・誤食の恐れがあるため) ・園児が遊んでいる間に取れない
安全性	・破損、落下の場合に子どもが触れる可能性を考慮する ・子どもが「誤飲」「誤食」する恐れがない ・振り回す等により、園児(自分・他人)がケガする恐れがない
耐久性	・子どもの活動に耐えられること(水に触れることも考慮が必要) ・急な雨天等の場合にも使用できる
操作性	・どの職員が利用しても簡単に操作できる ・職員の携行品が少ない ・充電なども含め、管理が容易である ・子どもから目を離す時間が少ない
正確性	・子どもの位置又は人数を正確に把握できる